

# 競技注意事項

## 1 規則

本大会は、2017年度日本陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項によって行う。

## 2 練習

事故防止の観点から十分に注意して練習し、競技役員の指示に従うこと。

- ① 補助競技場の練習は、ジョギングや体操程度のものに限る。※三ツ沢では補助競技場以外の練習は禁止。
- ② 競技開始前の主競技場での練習方法は、次のとおりとする。
  - ・1～2レーン…ジョギング
  - ・3～4レーン…中・長距離
  - ・5～6レーン…短距離
  - ・7～8レーン…ハードル
- ③ 競技開始前の主競技場での練習は、大会参加者に限る。
- ④ 主競技場での練習は、3日とも最初の種目の競技開始20分前までとする。
- ⑤ フィールド競技の練習は、招集完了時刻より競技役員の指示に従い、行うことができる。

なお、混成競技のフィールド種目の練習開始時刻は、混成審判員の指示に従うこと。

## 3 競技場

主競技場の競走路及び助走路の舗装の厚さは、トラック13mm、フィールド15mmである。スパイクのピンの長さは9mm以下とする。ただし、走高跳、やり投のスパイクのピンの長さは12mm以下とする。

## 4 招集

- ① 招集所は、100mスタート地点後方に設ける。
- ② 招集に遅れた者は、棄権とみなし出場を認めない。
- ③ 招集時刻は、競技日程に記載されたとおりとする。
- ④ 競技者は、出場種目の招集開始時刻から完了時刻までに招集所でナンバーカード、スパイクのピンの点検と(上着、バッグ等の商標)の点検を受ける。
- ⑤ 2種目を同時に兼ねて出場する競技者は、予めその旨を本人または代理人が招集の際、競技者係に申し出て「同時出場届」を受け取り、必要事項を記入し提出する。

## 5 欠場

出場種目を棄権する場合には、招集完了時刻前までに欠場届を競技者係に提出すること。  
(「欠場届」は招集所で配布する。)

## 6 入退場

役員の指示に従い入退場し、規律ある行動をとるよう心掛けること。

## 7 ナンバーカード

- ① ナンバーカードは、主催者が用意したままの状態(縦20cm、横24cm)で使用し、安全ピンは各自で用意すること。  
走高跳、棒高跳では、ナンバーカードを背または胸につけるだけでもよい。
- ② トラック種目では、腰ナンバー標識を右腰やや後方につけること。(競技終了後フィニッシュ地点で回収する。)
- ③ 特別ナンバーカードは、3000m以上の種目で使用する。

## 8 トラック競技及び組・走路順、フィールドの試技順

- ① トラック競技の予選の組・走路順、フィールド競技の試技順は、主催者が抽選し、プログラムに示す。
- ② トラック競技の準決勝、決勝の組・走路順は、本部で抽選し、招集所に掲示する。

## 9 リレー競技

- ① リレー競技に出場するチームは、リレーオーダー用紙1部を最初の組の招集完了時刻1時間前までに競技者係に提出すること。(リレーオーダー用紙は、招集所で配布する。)
- ② リレー競技において、同一チームの競技者は、同一のユニフォームを着用すること。

## 10 計 時

すべてのトラック種目は、写真判定(1/1000秒)で行う。

## 11 トラック競技の準決勝・決勝進出について

### ① 距離が800mまでの種目及びリレー競技

同タイム者及びチームについては、写真を細部まで読み取り優劣を判定する。それでも、判定できない場合は、同タイム者及びチームの代表者によって抽選する。

### ② 1500m

同タイム者については、次のラウンドに進める。

## 12 跳躍種目のバーの上げ方は、次のとおりである。(ただし、荒天の場合は別途指示する。)

種 目	練 習	上 げ 方							
男子 走高跳	1m80・2m00	1m85	1m90	1m95	2m00	2m03		以後3cm	
女子 走高跳	1m45・60	1m50	1m55	1m60	1m63	1m66		以後3cm	
男子 棒高跳	4m10・80	4m20	4m40	4m50	4m60	4m70	4m80	4m90	以後5cm
女子 棒高跳	2m20・3m00	2m20	2m40	2m60	2m70	2m80	2m90	3m00	以後5cm
7種 走高跳	1m20	1m25	1m28	1m31	1m34	1m37	1m40		以後3cm
10種 走高跳	1m45・70	1m50	1m53	1m56	1m59	1m62	1m65		以後3cm
10種 棒高跳	2m30	2m40	2m50	2m60	2m70	2m80	2m90	3m00	以後10cm

第1位及び6名決定のためのバーの上下の範囲は、走高跳では2cm、棒高跳では5cmとする。

## 13 競技用具

競技に使用する用器具は、主催者が用意する。ただし、棒高跳用ポール(跳躍審判員が検査する。)、やりは、検査を受け私用のものを使用してもよい。やりの検査は、競技開始時刻の1時間30分前から1時間前までに器具庫で受ける。

## 14 表 彰

各種目3位までに入賞した者(チーム)は、競技終了後ただちに表彰を行うので本部表彰者控え所に待機していること。

## 15 抗 議

競技規則146条による。

## 16 そ の 他 (競技方法)

① 本大会各種目6位(6名または6チーム。女子3000mSCは3位、混成競技は3位)に入賞した者は、関東陸上競技選手権大会に出場できる。(申込書は本部にある。)

※出場者が6名未満の場合でも入賞した者のみが関東陸上競技選手権大会に出場できる。

② 競技運営上、男子5000mWは25分、女子10000mは40分、女子3000mSCは18分、女子5000mWは35分で競技を中止する。(残り1周通過タイム)

③ トラック競技のスタートの合図は、イングリッシュコマンドで行い、1回目の不正スタートで失格とする。

④ 走幅跳及び三段跳のトップ8の試技は、そのままA及びBピットで試技を行う。

⑤ 少年男子共110mJハードルの高さは、0.991m、インターバルは9.14mとする。

⑥ 少年女子B100mハードルの高さは、0.762m、インターバルは8.5mとする。

⑦ 少年男子B砲丸投の重さは、5.0kgとする。

## 17 注意事項

① 競技会で発生した傷害については、主催者側で応急処置をする。

② 更衣室は、更衣のみに使用し、他の目的には使用しないこと。

③ 競技者は、ビデオ装置・カセットレコーダー・ラジオ・CD・トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内で所持または使用することができない(競技規則第144条3(b))

④ 貴重品は、各自で責任を持って保管し、盗難、紛失等に十分に注意すること。

⑤ **ゴミ(弁当の残飯やペットボトル他)は、持ち帰ること。帰宅途中で「ゴミ置場」や「その他の場所」へ投棄・ポイ捨てなど絶対にしないこと。**

⑥ 第2日目のShonan BMWスタジアム平塚のインタビュールームにメディカルトレーナーステーションを開設するので、利用してください。